

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエゾン上野		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 8日		2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い年齢層のスタッフ	ベテランスタッフと若手スタッフのバランスがとれており、様々な課題に対応できる。	課題についての話し合いを行い、色々な角度での視点からお子様の課題に向き合っていく。
2	お子様、保護者様の満足度	お子様自身で苦手な事にも挑戦し、のびのびと活動できる環境づくり 毎レッスンごとに保護者様と直接フィードバックを行い、ご要望、ご相談にも都度ご対応している。	引き続き、お子様が楽しめる、そして保護者様も見ていておもしろい、成長が感じられると思えるメニューの考案、開発を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との連携	他事業所との連携が少ない為、複数事業所通われている方の情報に乏しいと感じることがある。	事業所間で連携が取れるよう、相談支援事業所との関係性築いていき、相談させていただくとともに、地域の連絡会などにも参加し、他事業所の皆様と顔を合わせる機会を設けていく。
2	お子様の発語に対するサポート	運動療育の為、小集団でコミュニケーションを取る機会はあるが、スタッフがお子様に対してマンツーマンで発語に関するサポートをする場面は少ない。	お友達とコミュニケーションを取る際に、スタッフが間に入りながら正しい声掛けをしていき、言葉で伝えられる場面を増やしていく。
3			